

制定日 2016年4月 1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

ニッケル

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	Ni
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器腎臓)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(肺) 区分2(神経系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	区分4
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	可燃性固体 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れ。 アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ 発ガンの恐れ 呼吸器、腎臓の障害。 長期又は反復暴露による呼吸器の障害。 長期又は反復暴露による中枢神経系の障害の恐れ。 長期的影響により水生生物に有害の恐れ

GHS分類	項目	Ni
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p>【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。 適切な個人用保護具を使用すること。 環境への放出を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 粉塵、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。</p> <p>【応急処置】 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合、呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。 暴露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。 暴露した場合、医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>【保管】 施錠して保管すること。</p> <p>【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報:	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	・ニッケル
化学式または構造式	Ni
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7440-02-0
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	水噴霧、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂類。 棒状放水は不可
火災時の特定危険有害性	不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生する恐れがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生する恐れがある。金属ニッケルは通常酸化皮膜によって酸化に対して安定化しているが、酸化皮膜の無い新鮮な金属表面は、空気により急速に酸化される。従って、粉末の新鮮な金属ニッケルは、空气中で発火する恐れがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸装置、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する
環境に対する注意事項:	環境中に放出してはならない。
回収、中和:	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	水で湿らせ、空気中のダストを減らし散乱を防ぐ。
二次災害の防止策:	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	技術的対策: 第8項記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気・全体換気: 第8項記載の局所排気、全体換気を行う。 安全取扱い注意事項: データ無し 接触回避: データ無し
貯蔵	技術的対策: 特に技術的対策は必要としない。 混触危険物質: データ無し 保管条件: 施錠して保管すること。 容器包装材料: データ無し

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----	
許容濃度	ACGIH (2007 年) TLV-TWA 1.5 mg/m ³ 日本産衛学会 1 mg/m ³	
設備対策	この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 暴露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。	
保護具	呼吸用保護具:	呼吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡:	適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋:	皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣:	皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	銀白色
沸点:°C	2730°C
蒸気圧:Pa(20°C)	1mmHg(1,810°C)[換算値133Pa(1,810°C)]:HSDB(2006)
揮発性	情報が入手できません。
融点:°C	1453°C
比重または嵩比重	8.908
溶解度	4.22E+005 mg/L:SRC(access on 1 2009) その他の溶媒%(°C):
その他	-----

10. 安定性及び反応性

引火点:°C	情報が入手できません。
発火点:°C	情報が入手できません。
爆発限界:上眼% 下眼%	情報が入手できません。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・水との反応性)	粉末・箔では発火性有り
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
安定性・反応性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
その他	-----

11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口:マウス経口LD ₅₀ 値>9000mg/kgより、区分外とした。 経皮:データなし。 吸入(蒸気):データなし 吸入(粉じん):データなし
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	既存分類においてIARCが2B(IARC(1990))、NTPがR(NTP(2005))、そしてEUがCarc. cat. 3; R40(EU(2007))に区分していることから区分2とした。また、ラットの吸入、皮下、筋肉内、胸腔内、腹腔内投与による発がん性試験においていずれもがんや肉腫の発生が見られている(NITE初期リスク評価書 ver. 1.0, No. 69(2008); IARC vol. 49(1990); 詳細リスク評価書シリーズ19(2006))。
変異原性 (微生物、染色体異)	ラットの吸入ばく露による肺胞マクロファージにおける染色体異常の結果が陽性(NITE初期リスク評価書 ver. 1.0, No. 69(2008))との結果があるが特殊な試験系である。他にin vivoの試験データがなく分類できないとした。なお、in vitro変異原性試験:ヒトリンパ球を用いた染色体異常試験(IARC vol. 49, (1990))、ヒトリンパ芽球TK6を用いた突然変異試験(詳細リスク評価書シリーズ19(2006))は陰性である。
生殖毒性	ラットの経口投与(飲水)により、250 ppmまでの濃度において仔の体重減少、出産前の後期の仔動物の死亡が増加したこと(Teratogenic(12th, 2007))、また、着床前の死亡増加および数例の奇形が見られたとの記載より(Teratogenic(12th, 2007))、親動物で一般毒性が示されない用量において発生毒性の影響があると考えられたため区分1Bとした。
催奇毒性	情報が入手できません。
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	情報が入手できません。

12. 環境影響情報

情報が入手できません。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 9-418)
労働基準法	がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
PRTR法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行例第1条別表第1)(政令番号:1-308)

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ACGIH発行TLV_s® and BEI_s®2007 ・厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx ・安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0:新規制定

*危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません